



TNC
通信

2021
8月号

9月19日に“稲刈り体験交流会”を企画！！

先の総会で提案された“稲刈り体験の交流会”の日程が決まりました。これは留学生等を招く企画となり2年振りの実施になります。当日は稲刈り、稲干しの体験と昼食となります。
 なおコロナウイルスの変異種による影響も考慮し最終判断は、次号に掲載します。
 会場は前回同様、松田商店整備部近くで、参加費500円を予定しております。



2019年9月に行われた交流会

【丑年アラカルト】
 「食牛の氣」一虎や豹は幼いうちから牛を食う程の氣力を持っている、転じて大人物は幼少時から常人とは異なっているところがある譬えである。『太平御覽』

私の友好記憶 「清華大学での文化交流」 水戸憲子



胡弓の演奏等と交互に出場、私も「月の沙漠」「荒城の月」と初めて中国語で「大海啊故郷」を歌い(写真⑤)大きな拍手をいただきました。

初めての中国は1996年3月でした。友人のKさんが、東北大学客員教授だった顧秉林(こへいりん・後の学長)さん(写真④前列左2人目)と親しく、その関係で清華大学で日本文化を紹介する企画行事に参加することになったからでした。仙台から友人9名が参加し、日本の歌や舞踊、演奏を披露。大学側は少年少女合唱団、中国雑技、

会場は一つになり大成功の“公演”となりました。また終了後の交流も和やかに、言葉や世代の壁も

感じられぬ楽しいひとときとなりました。
 翌日からは北京市内の観光でした。故宮、天壇、長城、頤和園等を巡り、圧倒される壮大な建造物に驚くとともに、歴史を踏まえた説明もあり、隣国でありながら知らない事が多く、実際に訪問し実感することが、いかに大切であるかを学びました。そしてそれまで以上に、日本と中国のつながりを大切にしなければと、



県女性委員会や富谷日中での活動、中国語講座にがんばるよくなりました。

『中国少数民族民話』「藏族 キツネの悲劇」1

トラとライオンは切っても切れない強い絆で結ばれた大の仲良しです。彼らは互いに強い信頼関係で結ばれていて、どこへ行くにも、何をすることも一緒でした。しばらくすると、彼女たちに相次いで赤ちゃんが誕生しました。それで互いに協力し合い、役割分担をして、ともに子育てをすることになりました。ライオンは自分の赤ちゃんとトラのあかちゃんの両方の世話をし、トラは山へ出かけて、獲物を探してくることにしたのです。

そんなある日のこと、トラは山の中で、一匹のキツネに出会いました。このキツネは日頃から、トラとライオンが大の仲良しであることを快く思っていないで、それで、この機に乗じて、仲たがいをさせてやろうと考え、トラをたきつけました。「あのライオンは、極めつけの悪だよ。ヤツは自分の子供ばかりお乳をやって、キミの赤ちゃんにはあげないものだから、おなかをすかせて泣きわめいているよ！ それに近い将来、ヤツはキミを食べようとしているんだ。そのうち毛を逆立てて襲ってくるよ。そのときこそキミの生命は危ない！」

そんなことがあってからというもの、トラはライオンに対して、ある一定の警戒心を抱くようになりました。そして暇を見つけては、家に帰り、ライオンの様子をそっと観察していました。しかし、総じて子どもたちの健康状態は良好で、体重も順調に増えています。それに何より、子供たちはライオンによくなついています。それでトラは、子どもの日常はほぼ快適だと判断しました。

※西藏(チベット)族 中国の西南部を占める地域がチベット自治区で、120万km²に360万人が生活。ラサ市が最大都市。

『後期日中戦争』

(広中一成著 角川新書 1012円)

終戦の8月なので紹介します。太平洋戦争が始まると、中国との戦争が忘れられたというのが実像である。しかし大規模でなかったものの中国戦上での日本軍戦死者は総数約41万人の内、日米開戦後は約23万人を占めていると指摘。本書は、いわゆる北支ではなく名古屋第三師団の西南での戦闘史である。長沙での敗北や江南での虐殺、細菌や毒ガスの使用、補給無き苦闘等が資料を基に紹介される。日中双方の証言が生々しい。後世、目的無き戦い、と言われるほど、太平洋戦争のバックアップ、本土攻撃の阻止の作戦も、米軍の質・量は想定外であった。

